

2月1日～  
4月5日

# 延岡花物語

## 早春の花、多彩なイベント

### 1/16 オープニングは慧日梅観梅会

延岡花物語実行委員会（実行委員長・谷平興二延岡観光協会代表理事）はきょう、延岡市役所で会見し、観光イベント「延岡花物語2020」の概要を発表した。開催期間は2月1日～4月5日。メインイベントの「このはなウォーク」は2月22～24日と例年より開催日を1日増やし、多くの集客を図る。ほかにも、期間中に多彩なイベントを企画。各イベントでは早春に咲く花々を鑑賞しながら、グルメやステージイベントが楽しめる。

2014年から始まった「延岡花物語は市内で見」桜、ツバキと一緒にステ



延岡花物語の概要を発表する谷平実行委員長（右から2人目）ら。きょう午前、延岡市役所

寺であり、境内に立つ樹齢2300年の「慧日梅」の見事な白梅を鑑賞しながら、野だてなどを楽しむ。延岡史談会による無料ガイドや名手2人が居合と朗詠を披露。大峡町の臥龍（がりゅう）梅な「石垣へは大型のプロジェ

このはなウォークは2月22～24日に五ヶ瀬川の松山橋～五ヶ瀬大橋間の河川敷が会場。会場内に



「このはなウォーク」会場の五ヶ瀬川右岸堤防。菜の花が咲き始め、鮮やかな黄色が目立つ。桜は小さなつぼみを付けている（きょう午前9時ごろ）

クシミンマシピンクを開催し、石垣が崩れるシーンなど迫力ある映像と音楽で夜を演出する。3月29日にはグルメとステージで楽しむ「ワイワイグルメ博」を開く。

谷平実行委員長は「このはなロードは癒やしの空間としてかなりの数の方に来ていただいている。多種多様に楽しめ、市外、県外から訪れるイベントにしていきたい」と話した。

### 今年3日間

製作した約3000本の

屋敷を創る。正片でフリースタイルイベントや展示、グルメなど多彩なプログラムを計画。自衛隊が災害時に使用される応急架設橋で兩岸を結び、一般に開放する。

宮崎県北と大分県南の商工会議所と商工会でつくる「日豊経済圏開発促進協議会」が協力し、グルメブース出店やイベントを実施。「出会いの聖地 探訪バスツアー」では西郷隆盛のひ孫の西郷隆夫さんが現地案内する。22、23日の夜は桜と菜の花をライトアップする夜桜「桜花灯（あかり）の展示」がある。